

Cover Story
真木よう子

必読! 我が子をヤワな大人にしない方法

ワーキングマザーが
いちばん楽しい!

Grazia

7 グラZIA
July 2013
No.208

六本木
代官山・表参道
子どもと一緒に
「買い足し」
ショッピング&カフェ
ガイド

「一生モノ」、その素敵な響きとともに
慈しみ深き名品時計
シネマとジュエリーと私
「華麗なるギャツビー」に魅せられて

Beauty 4本立て
「差が出る年頃」の
洗顔&クレンジング作法
山本浩未さんの
夏の超ミニマムベースメイク
「まとめたい」季節の
美ヘアアレンジ術
大人のビタミンカラーネイル読本

野口真紀さんの
「やっと週末! おしゃれな朝食」
うつわで学ぶ「キレイと食育」
必修科目のダンス・ダンス・ダンス!
働く母の最新ソーシャルライフ入門

買い物上手は、何を? どこで?

夏を乗り切る 「買い足し」作戦

- 1 セールの前にこれだけはチェック 決定! 夏のヘビロテアイテム
- 2 主役級&コスパブランドを適正価格で気分を上げるトレンド夏小物
- 3 「ゆるエレ」に装うための救世主! 夏スタイリングに役立つインナーTOPICS

ヤワな大人に「絶対」育てない！ 小学生編

「子どもの成長には、
孤独やさみしさも必要。
働く母には、強い子どもが育つ
環境が整っているとも言えます」

教育&家族問題の
達人



高濱正伸さん
Masanobu Takahama
1959年生まれ。東京大学卒業。同
大学院博士課程修了。'93年に小学
校低学年向けの、「作文」「読書」「思
考力」「野外体験」を重視した学習教
室「花まる学習会」を設立。多くの
父母から支持を得ている。父母向け
の講演会は、毎回キャンセル待ちが
出るほど人気。「わが子を「メンが食
える大人」に育てる」(廣済堂出版)
など著書多数。

心の強さを決めるのは、
小学校時代の経験が大きい

「メンが食える大人」を目標に、教育に
取り組む高濱正伸さんは、10歳までに心
の強さを育むべきだと考えている。

「まず、今のヤワな大人が共通して引き
ずっているのが、根拠のない自信と、万
能感です。自分は特別だと思っから、
何かを達成できないと、これは自分に
合わない」と言っていて逃げ出します。
子どものうちに、この万能感を断ち切っ
ておくことは親の役目のひとつです」

この原因のひとつは、グズればかまっ
てやる、タダをこねれば買ってやるなど、
近くにいる大人が、「子ども基準」でい
つまでも接していること。

「我が子にはなんでもしてあげたい。し
かしその心を律して子どもにガマンをさ
せることも大切。さらに降りかかる困難
を親が先回りして排除する。無菌方針、
を捨てること。子ども同士のもめ事に介
入する親が増えていますが、もめ事は大
切な成長の肥やしです。だからケンカを

してはダメ、危ないことをしてはダメ、
などと言いつつ、成長の芽を摘む結
果になりやすいですね」

さらに子どもを強く育てるには、徹底
的に体を動かして遊ばせること。これに
より、心と体の瞬発力、が養われる。

「たとえ、武道や水泳など体を使う習
い事をさせたり、自然教室などに入れる
のもひとつの手段です。大切なのは子ど
も自身の好きなことで、体を動かし、時
には悔しい経験をするこの積み重ねが、
将来の、自分で納得するまで、問題に食
い下がる、いい意味での執着心、につな
がっていきます」

学習面においては、親が毅然とした態
度で取り組ませること。これが子ども自
身の心を切り替える力、自分を律する力
を育む。

「6時よ、勉強の時間だね」とテレ
ビもゲームも全部消し、有無を言わず
取り組ませる。これにより学力も精神力
も育まれます。余談ですが、仕事を持っ
ているお母さんの子どもは、大変だけ
ど仕事はやらなくてはダメなんだ」とそ

高濱流

ヤワに育てない5つのポイント

- 我が子をめま事から遠ざける
「無菌方針」を捨てる
- 夫婦関係を良好にする努力を
- 子どもの「万能感」を早い段階で断ち切る
- 「ごまかし」は絶対に見通さない
- 何があっても一日を「よかったね」で締めくくる

朝は自分で起きる
ようにしつける
学校は社会に出るための訓
練。定時に起きて身支度をして
家を出る習慣をつけることは、
将来、仕事にきちんと行くこ
とにつながる。子どもの自主
性を高めるために、自分で起
きるようにすることが大切。



仕事人のオーラを
意識して出す
母親が働いている姿から、子ども
は多くを学ぶ。自分に与えられた
社会的役割を果たす親の姿を見て
いると、子どもは働くことの大切
さを学ぶ。「自分でメンが食える
大人」になるために、家で仕事人
のオーラを出すことも大切。



子どもを
かま過ぎない
子どもに必要以上に手を
かけない。子どもは思っ
ているよりも親の力がな
くとも自然と伸びる。一
人で考えさせたり、作業
をさせたりすることは、
成長につながる。

「明日からできる! 強い子に育てる生活習慣」

「子どもに好かれようとしないうこと!」
毅然として生きることが大切!

親が働く姿を見せ、人生は
楽なことばかりではないと教える

元高校教師・野々村直通さんは、高校
野球の監督として何度も甲子園出場に導
いてきた。多くの高校生を見てきて、子
どもをヤワにする親、しない親の差はど
こにあると考えているのだろうか。

「子どもが中心、子どもが主役をやっ
ていくと、間違いなく子どもは弱く育っ
ていきます。楽しいこと優しいことばかり
で、親から叱られ、叩かれたことがない
子どもは、自分の思い通りにならないと
簡単に挫折します。失敗したらすぐにあ
きらめてしまえば、何としてでも生き残
ろうと力が足りない。あらゆる試練に無
抵抗な人間が大量に増えていることが今
日本の大問題だと考えています」
そんな大人にならないために、家庭で

変えていくべきことは何か。

「まず、子どもに好かれようとせず、親
は毅然とした態度で対峙を。そもそも、
家庭は大人中心であるべき。子どもの言
い分を通す現代日本がおかしい。さらに
親が働く姿を見せ、人生は楽なことばか
りではないと教えよう。それに、死を意
識させること……仏壇やお墓に手を合わ
せて、人はいつかは死ぬことを教え、そ
の日まで精いっぱい生きるのだ、とせひ
教えて。また、礼儀や生活習慣などは徹
底的に教え込み、子どもの悪い部分と向
き合う。すると、親子で切磋琢磨できる
関係になります。このように育った人間
は、自分のためだけでなく、社会のた
めに役立つとする意識を持ち、それは
日本の将来を明るくしていきます。そん
な子がひとりでも多く育つかどうかは、
あなたの肩にかかっています」

佐々木さんを育てた5つのポイント

- 好きな仕事をやり続けた
- 転校続きで、孤独だった
- ひとりの時間を楽しむ環境が整っていた
- 両親が子どものチャレンジに積極的だった
- 両親ともに忙しく、自分のことは自分ですることが多かった

コミュニケーションの
達人

佐々木圭一さん
Keiichi Sasaki



上智大学大学院修了後、広告会社に入社。「伝える
こと」が苦手にもかかわらず、コピーライターとして
配属され苦しまず、名文を写し続けるなどの努力
をし、頭角を現す。日本人初、米国の広告賞One
Show Designでゴールド賞を受賞。ほかにも国内
外で51の賞を受賞。広告以外にも作家、大学講師
として活躍。2013年発表の初の著書『伝え方が9割』
(ダイヤモンド社)は、25万部を超えるベストセラーに。



佐々木さんの子ども時代
好きな工作に没頭し、試行
錯誤して何かを作る喜びを
知っていた。英会話教室を
主宰していた母親と海外旅
行に行き、見聞を広め自立
心を養うことができた。

劣等感や試練から
強さを育んでいく

誰でもすぐできるコミュニケーション
のコツを実践的に解説した本『伝え方が
9割』は短期間で25万部突破。著者の佐々
木圭一さんは、もともと伝えることや文
章表現が苦手だったという。広告代理店
入社当初は、コピーライターとしての仕
事に激しいダメ出しをされ、ストレスで
激太りしても、仕事に食いつき離れず、
努力を続けた。その「強さ」こそ我が子
に将来身につけてほしい力。それはどの
ように育まれたのだろうか。

「幼稚園から小学校時代の僕は、工作に
明け暮れていました。父が転勤族で友達
がいないこともあり、ひとりで材木を組
み合わせて遊んでいた記憶があります。
友達と話すのが苦手だった劣等感めいた

ものを、とにかく工作や勉強にぶつけて
いましたね」
そういうたひりの時間にこそ、工作、
読書、自然への好奇心などを満たす環境
が整っていた。

「今思うと、孤独であることが自分の強
さを育てたと思います。共働きで両親と
もに忙しく、子どもを過剰にかまわな
かった。記憶にあるのは11歳の時、母がパ
リに連れて行ってくれたのですが、ある
駅で、3時間後に凱旋門の前で待ち合わ
せね」と自分は好きな美術館に行っ
たが、あのときは子ども心ながら、僕な
らたどり着ける」と思っていました。そ
れに、僕の両親はどんなことでも、ど
かく自分でやってみなさい」という方針。
これも自分の世界を広げる後押しをして
くれたように感じます」

野々村流

育てない5つのポイント

- 働く姿を見せる
- ぬことを意識させて、生きるこ
- 庭は大人中心でいい
- 悪いことは子どもが嫌がっても身につけさせる
- 子どもの行う悪いことは見て見ぬ振りしない

生徒指導の達人



野々村直通さん
Naomichi Nonomura

1951年生まれ。広島大学卒業後、同県の県立高校
である府中東高校に赴任し、野球部の監督となる。
就任6年目に甲子園大会出場を果たす。その後も新
たな赴任先の高校を甲子園出場に導くなどの実績を
重ねる。開星高校監督だった2010年春の選抜大会
の時、21世紀枠で出場した相手校に敗れ「末代大
の恥」と発言したことが大パッシングを受け監督
を辞任。しかし、約8000人分の復讐嘆願署名が集
まり、翌年に監督復帰。同年夏の甲子園に出場。現
在、教師を定年退職し、教育評論家として活躍。

間は急げ、楽をしようとするもの。
の心を律するために行く場所とは?

は、第2次世界大戦中に特攻隊員として若い命を散
らした兵士の遺骨を展示した「教育参考館」(広島県江田
島市、海上自衛隊第1術科学校内)。指導する高校生と
年頃の子どもたちが国のため、家族のために死地に
赴いた事実を知らせることで、平和な時代に勉強やスポ
ーツができる幸せ、生命の輝きを自覚させていた。